



東通村と都市部との交流事業

第1弾 ～東通村のわらしと語ろう会2018 in浮間小学校～



6月9日（土）、東京都北区立浮間小学校を会場に、今年も「東通村と都市部との交流事業 ～東通村のわらしと語ろう会2018 in 浮間小学校～」が開催されました。

この事業は電力の生産地と大消費地の相互理解や交流を目的に平成16年から始まり、今年は、交流開始15年目となります。これまで東通★東風塾（山崎孝悦 塾長）が中心となって築いてきた交流の輪は、現在、様々な人のつながりや子ども達の教育プログラムに発展し、さらに広がり続けています。

例年、交流事業の第1弾として開催される「東通村のわらしと語ろう会」では、東通小学校5年生の児童8名が、東京都北区立浮間小学校の5年生児童の自宅に2泊3日のホームステイを行います。東通小の児童たちは浮間小学校での授業参加、都市部での生活体験、東通村のPR発表等を行いながら、お互いの地域や文化の違いを理解し、東通村の自然や生活環境を再認識してキャリア教育へとつなげていきます。一方、浮間小学校の子ども達にとっては入学時から楽しみにしている交流事業で、積極的に東通村の“わらし”達に話しかけ、べこもち作りなどの体験活動に取り組んでいます。

交流活動以外でも、ホームステイ先の家族とは電車やバスを乗り継いで首都圏の観光名所やスポーツ観戦にも出かけます。普段はなかなか経験できない生活や2泊3日の交流を通して、お互いの“わらし”達は家族のように親しくなり、別れ際には涙ぐむ姿も見られました。

今年も、東京都北区との様々な交流事業が予定されています。7月4日（水）～6日（金）には浮間中学校の2年生が村内の農園や漁協などで第1次産業の職業体験を行い、7月27日（金）～29日（日）には浮間小学校の5年生が東通村にホームステイします。村内で浮間の“わらし”達を見かけたら、ぜひ声をかけ、東通村の良さを伝えてあげてください。



浮間小児童の前で東通村をPR



浮間小の児童と一緒に授業参加



べこもち作りの技にみんな感動!